

# みえ現場de県議会

## 「ダイバーシティ社会の推進」

三重県議会では多様な意見を聞き、県議会での議論に反映するため、テーマを設定し、県民の皆さんから直接意見を聞く「みえ現場de県議会」を平成22年度から開催しています。

### 開催概要

平成30年11月19日に、亀山市文化会館で、「ダイバーシティ社会の推進」をテーマに開催しました。当日は各分野でダイバーシティ社会の推進に関わっている方などから、ヘルプマークや同性カップルパートナーシップ制度の普及、民間主導による多文化共生などについて、さまざまな立場からのご意見をいただきました。

### 参加者

- 各分野でダイバーシティ社会の推進に関わっている方 3人
- 一般公募 3人
- 県議会議員（正副議長、広聴広報会議委員、総務地域連携常任委員長、戦略企画雇用経済常任委員長、環境生活農林水産常任委員会副委員長、医療保健子ども福祉病院常任委員長、防災県土整備企業常任委員会副委員長、教育警察常任委員長）16人



### (1) 現状と課題について

- ヘルプマークは広がってきていたりと思っているが、企業での調査では10%ほどの人しか印象がないということも聞いている。やはり横のつながりが必要で、今後もそこが一番の課題だと私たちも思っている。
- 今、日本は人手不足で、多くの外国人の方に働いてもらうという考えは、本当にお互いが協力すれば、すごく良いことだと思うが、来ていただくということは、それなりに環境を整えないといけない。お互いがWin-Winの関係で、安心できる環境でないと結局は離れてしまうことがあると思う。
- 動きににくい環境をつくっているのは、上層部であったり、従業員かもしれないが、その中で企業や行政は、どのようにして安心した場を設けていくことができるか、横につなげていかないといけない。
- ダイバーシティという言葉は、横のつながりをつくるという意味ではすごく良い言葉だと思っている。それを上手く前向きに活用していくといけない。
- 多くの方に、自分たちが主催しているイベントなど、当事者が集まる現場を5分でも10分でも見に来ていただきたい。現場で皆さんの話している様子を見るだけで安心する。そういう現場というものが一番大事ではないかと思う。



### (2) 提案・要望について

- 横の連携ができればもう少しいろいろなことができると思うので、このような機会があったことはすごくうれしい。少しでも議員の皆さんと意見交換をさせてもらえれば、連携も進むのではないかと思う。
- 縦のつながりではなく、横のつながりをつくって共に取り組んでいくような案や、市・町で行っていることを意見交換する場が少しずつ増えていけば良いと思う。



- 知るという手段としては、やはり教育という場である。小さい時から「こういう子もいるんだ」ということが当たり前になるような教育をしていくべきである。
- 外国人の方、LGBTの方などに関するいろいろな事柄をどう教えていくのか。子どもたちが大人に教えるということができないか。

## 「みえ県議会出前講座」実施校を募集しています

三重県議会では、県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う意識の醸成に寄与すること等を目的に、県議会議員が小中学校や高校に出向き、県議会の役割や仕組みなどについての授業を行っています。

### 実施日時・場所

ご相談の上、ご希望の日時・場所（教室、体育館など）で行います。

### 内 容

「県議会の役割と仕組み」をテーマとして、三重県の予算や条例が決まるまでの県議会の仕組み、県議会の役割などについてご説明します。これ以外のテーマであっても可能な限り対応します。

### 講 師

県議会議員（県議会広聴広報会議委員）



### 申込方法

申込書に必要事項をご記入いただき、FAX、郵送又はメールにより、実施ご希望日1か月前までにお申込みください。申込書は県議会ホームページからダウンロードいただけます。

## 編集 三重県議会広聴広報会議

座 長 前野 和美（副議長）  
委 員 （新政みえ）中瀬古 初美 吉川 新 津村 衛 後藤 健一  
(自由民主党県議団) 木津 直樹 田中 祐治 野口 正  
(日本共産党) 岡野 恵美 (大志) 倉本 崇弘 (青峰) 野村 保夫

### ご意見・ご要望はこちらまで

## 三重県議会事務局企画法務課

T514-8570 津市広明町13 TEL 059-224-2877 FAX 059-229-1931  
E-mail gikaik@pref.mie.jp ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>



議会HP

スマホ版

議会だより